

YAMAKI

## 取扱説明書

油圧クラッチポンプユニット

**PHV40WEMP**

**PHV50WEMPB**

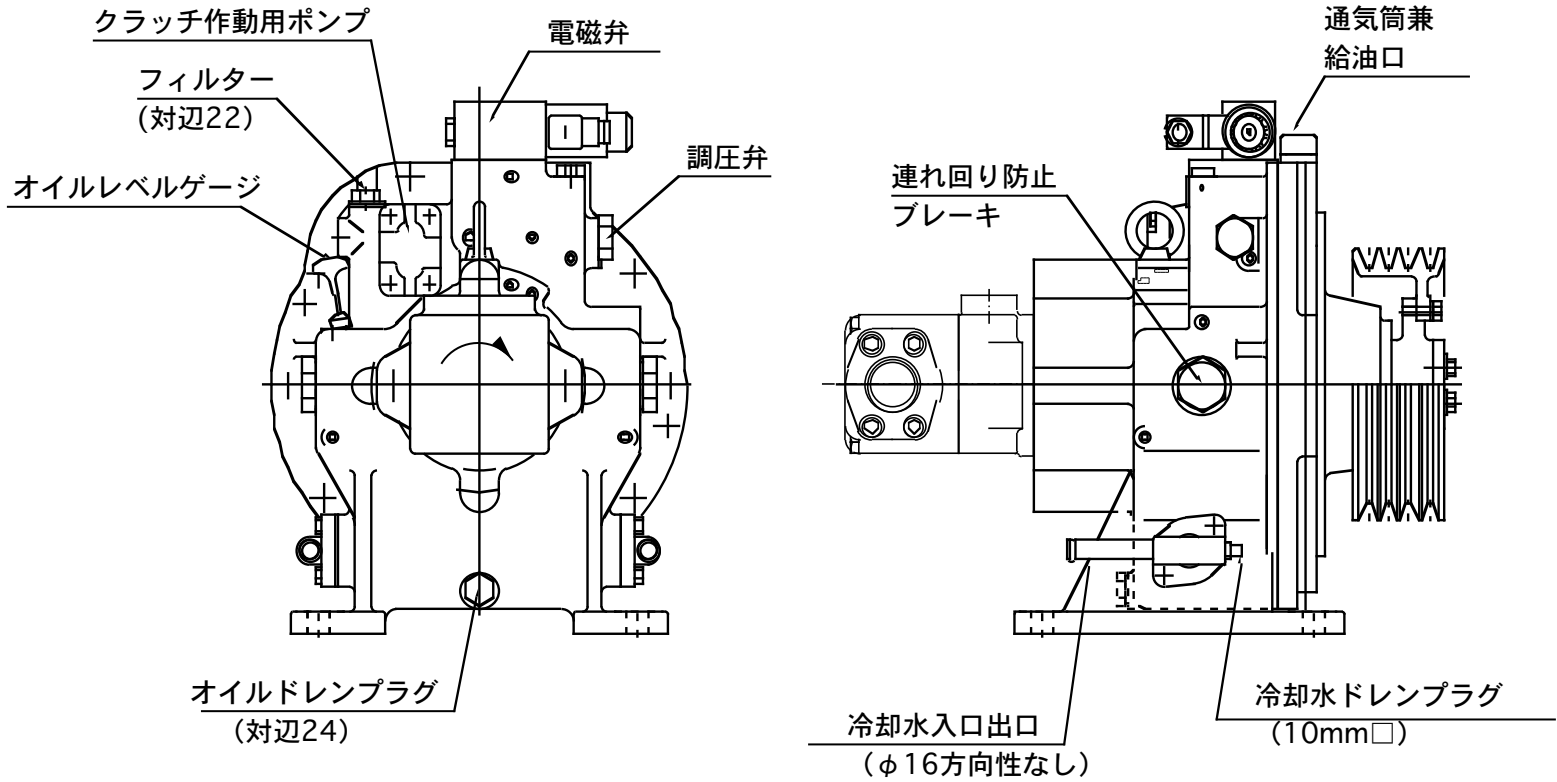
**PHV60WEMPB**

2008年8月発行

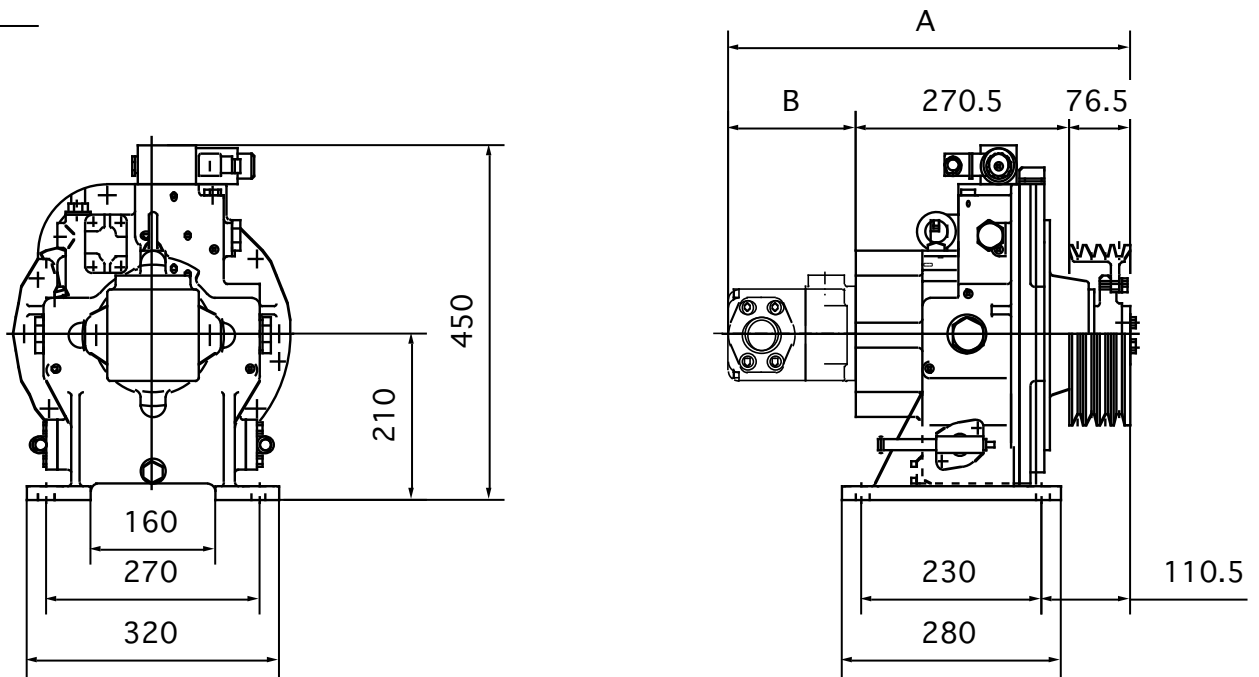
山本機工株式会社

# 各部名称と主要寸法

## 各部の名称



## 主要寸法



	T6C/T7B	T6D	T6E	T6CC
A	509	532	572	613
B	162	185	225	266

ご注意ください点

- ①工場で確認運転終了後、オイルは全量抜き取って出荷いたしております。  
試運転前に給油して下さい。

使用油      ディーゼルエンジンオイル SAE#30  
油 量      約2.5 ℓ

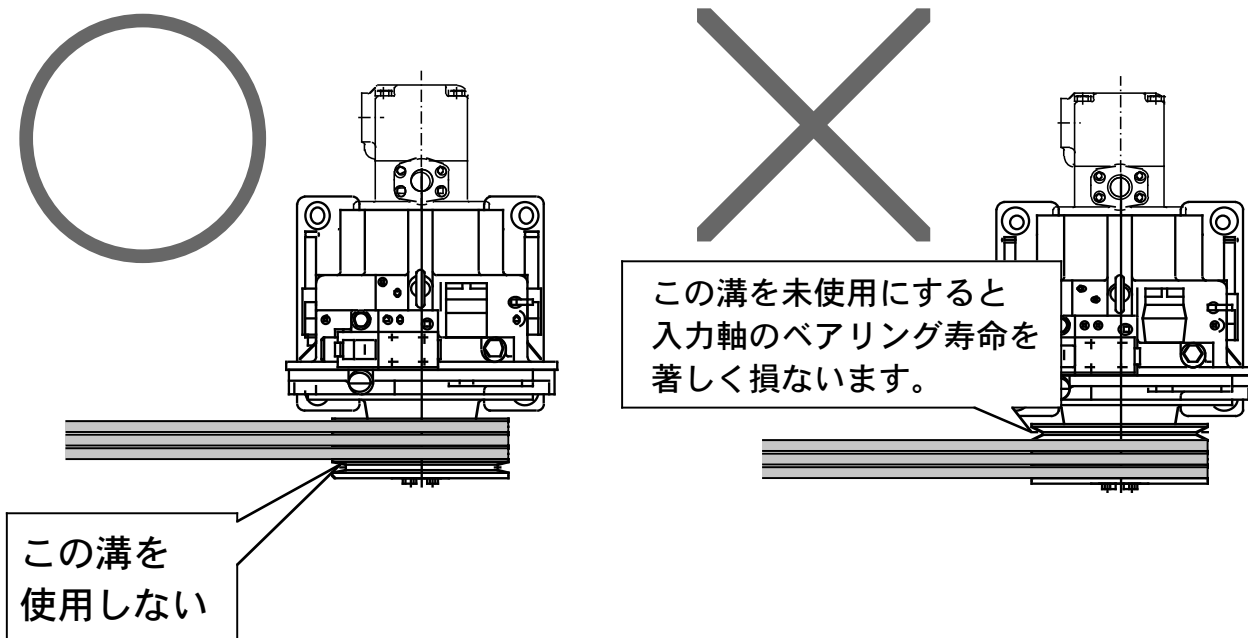
油量が多すぎると発熱・オイル漏れの原因となります。  
必ず油量はレベルゲージの範囲内で給油願います。

- ②冷却水の配管を行って下さい。

冷却水量      15～20 ℓ/min (30℃以下)

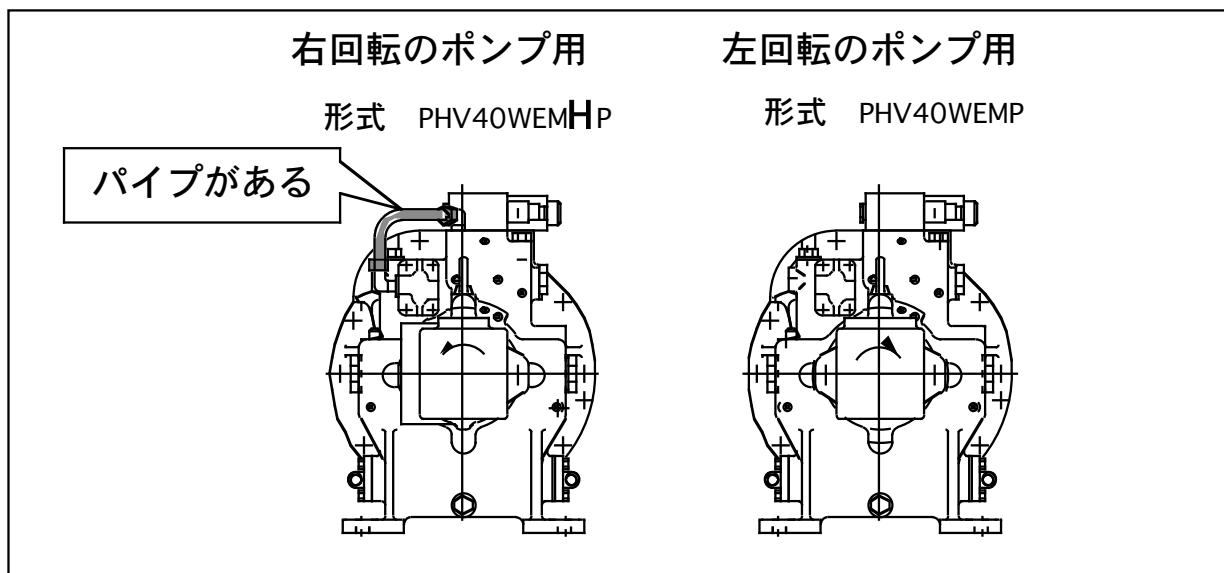
水量が多すぎるとキャビテーションが発生してフィンチューブが  
破損する原因となります。

- ③ プーリー溝が余る場合は、クラッチよりの溝を使用して横引きして下さい。



回転方向の変更は、外部から簡単に行うことができます。

### 外観上の違い



### 必要部品

右回転のポンプ用	⇒	左回転のポンプ用へ	414-591-401A ポンプAssy 1式 PT3/8 プラグ 1個
左回転のポンプ用	⇒	右回転のポンプ用へ	414-592-401A ポンプAssy 1式 414-525-400B パイプAssy 1式 PT1/4 プラグ 1個

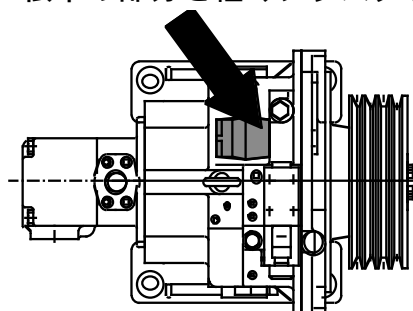
### 必要工具

対辺13mmのメガネスパナ 又はボックスレンチ  
対辺22mmのスパナ  
対辺6mmと8mmの六角レンチ  
シールテープ 液状ガスケット

### 変更の手順

- ① クラッチのポンプを外します。(M8 対辺13mm)

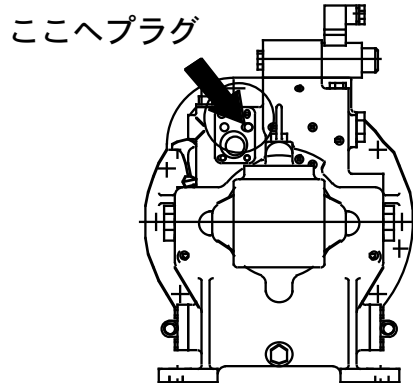
根本の部分を軽くプラスチックハンマー等でたたくと外れやすいです。



必ず根本の部分からポンプ一体で外して下さい。  
中間の合わせ面に使用している透明のパッキンが切れるとポンプ性能が損なわれ最悪の場合ポンプが破損します。

## 左回転のポンプ用を右回転用にする場合

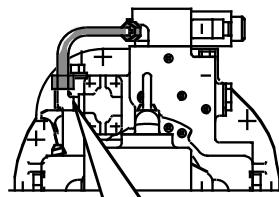
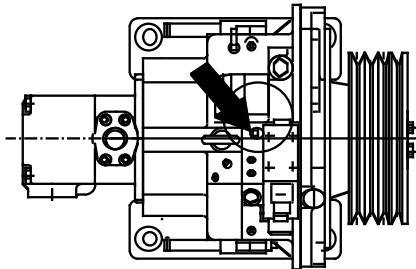
- ② ポンプAssyを外したら、→印部にプラグをして下さい。(PT1/4 対辺6mm)



プラグには、シールテープを使用せず液状ガスケットを使用して下さい。  
ポンプ取付面よりプラグが出ていないことを確認して下さい。

- ③ 次に、この回転方向専用のポンプAssyを組み込み、  
下図のようにパイプを組み込んで下さい。

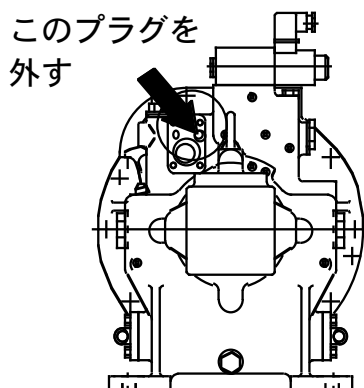
このプラグを外す(PT3/8 $\frac{1}{2}$  対辺8mm)



ジョイントをあまりきつく締めると、  
ポンプのプレートが割れます。  
シールテープを多めに巻いて  
慎重に位置決めして下さい。

## 右回転のポンプ用を左回転用にする場合

- ② ポンプAssyを外したら、→印のプラグ(PT1/4 $\frac{1}{2}$  対辺6mm)を外してから、  
この回転方向専用のポンプAssyを組み込んで下さい。



- ③ 右図の→印にプラグ(PT3/8 $\frac{1}{2}$  対辺8mm)を  
してください。

プラグには、シールテープを使用して下さい。

